

教科	芸術	科目名	美術 I	単位数	2
学科	全学科	学年	1 学年	履修区分	
使用教科書	高校美術1(日本文教出版)				
副教材など	なし				

1. 科目の目的

美術の幅広い創造活動を通じて、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばすことを目的とします。

具体的な内容として、生徒の経験や能力、興味・関心などをふまえ、創造的な表現と鑑賞の基礎的・基本的能力を伸ばします。また、表現における選択の幅を広げるとともに、自己実現を目指し表現を迫り進めていく主体的な態度を育てます。題材においては油絵等の絵画作品制作とイラストレーション等のデザイン作品制作をバランスよく扱うとともに、日本や諸外国の文化を理解し尊重していく態度や現代のアートシーンについての理解を深める鑑賞の活動を大切にします。

2. 授業の内容と進め方

作品制作及び鑑賞活動が授業の両輪になります。作品制作のみで終わらないように、作品完成後はお互いの作品を鑑賞し、まとめや意見交換を行うとともに、作家の制作活動や作品鑑賞をとおして様々な表現方法や価値観について学びます。

3. 学習する上での留意点

作品制作においては、対象から「感じ取ったこと」を基に「構想」し、「表現」というプロセスをとおして、表現の基礎的な能力を身に付けていきます。また、表現する上で技術的な面のみにとらわれないようにし、個性に応じた自己実現の方法を探していきます。

鑑賞の活動では作品や作者の表現意図に対し、自分の考えをまとめます。

4. 課題等について

- 1) 学習計画にある通りの課題を美術の授業において制作し、提出します。
- 2) 作品にはすべて提出期限を設け、必ず完成させて提出します。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。
鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

6. 評価の方法

評価については、提出された課題作品及び鑑賞の課題の評価に、制作意欲や制作態度など日々の授業に取り組む姿勢等を平常点として加えて、総合的に判断します。

- 1) 制作意欲や制作態度、作品・道具の管理の仕方など、授業に取り組む姿勢を評価します。
- 2) 授業で制作した課題作品の提出をもとに、課題の目的を理解して表現できているかを評価します。
- 3) 作品を通して自己を表現できているか、創意工夫し積極的に作品の質を高めているかを評価します。
- 4) 課題制作後の自己のまとめや反省を行い、自ら感じ取ろうとする意欲や態度を評価します。

《指導計画》 科目名 美術 I

1 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	●オリエンテーション ○「道具をつくる」 ○「思考にかたちを与える」	①高校で美術を学ぶ目的や年間授業計画について理解します。 ②ものづくりに不可欠な、発想・構想のためのスケッチの方法を学びます。	スケッチ 意欲・態度
	5	●イラストレーション(デザイン) ① 練習課題 ② 形・明暗の整理 ③ トリミング、下絵の拡大 ④ 配色計画 ⑤ 彩色 ⑥ 作品鑑賞	①デザイン表現における形の単純化、統合の効果と方法を理解します。 ②効果的なトリミング、画面構成について学びます。 ③色彩の基礎を理解し、その特徴を生かした効果的な配色について学びます。 ④描画材(アクリル絵の具)の特徴を知り、美しく彩色する技法を身に付けます。	練習課題 完成作品 意欲・態度
	6			
	7	●美術作品鑑賞 I (鑑賞)	教科書等の美術作品を鑑賞し、作品のよさや美しさを味わいます。	課題プリント
	8	●夏季休業中の課題(発明創意工夫コンクールのポスター)		
二 学 期	9	●鉛筆デッサン(絵画) ① 構図を捉える ② 形を捉える ③ 明暗を捉える ④ 質感・細部の表現	①鉛筆デッサンの基礎を理解し、対象のイメージを捉える方法を身に付けます。 ②モチーフの配置(構図)や形態を捉える方法を学びます。 ③モチーフの質感や細部の特徴を捉え、デッサンを完成させます。	デッサン 意欲・態度
	10	●油絵制作(絵画) ① 構図の決定 ② 鉛筆による下書き ③ 明暗の表現 ④ 質感の表現 ⑤ 細部の表現・完成 ⑥ 作品鑑賞	①油彩用具の取り扱いと基本的な使用法を理解し、形や色彩の表し方の基礎を身に付けます。 ②油彩の表現技法を生かして、モチーフの色彩、質感の特徴を捉えます。 ③全体と部分の関係を考えて細部を表現し、作品を完成させます。	スケッチ 完成作品 意欲・態度
	11			
	12			
三 学 期	1	●シンボルマーク制作(デザイン) ① アイデアスケッチ ② 鉛筆による下書き ③ 彩色 ④ 作品鑑賞	①文字や具象形から主題を発想し、構想します。 ②イメージを明確に表すための形の単純化、統合の方法を学びます。 ③効果的な配色を考え、技法を生かして彩色し作品を完成させます。	スケッチ 完成作品 意欲・態度
	2	●立体デザイン制作(デザイン) ① 試作 ② 本制作 ③ 作品鑑賞	①素材の特徴や偶然の効果の中から主題を発想し、構想します。 ②切る、曲げる、折るなどの技法を工夫し、自分が思い描くイメージや想いを立体に表します。	試作 完成作品 意欲・態度
	3	●美術作品鑑賞 II (鑑賞)	教科書等の美術作品を鑑賞し、作品のよさや美しさを味わいます。	課題プリント